

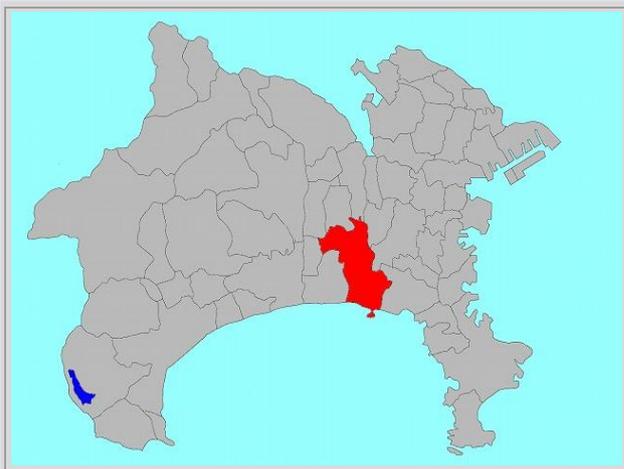
1. 遺跡名 用田バイパス関連遺跡群
用田大河内遺跡
(ようだおおごうち)
2. 所在地 藤沢市用田
3. 時代 近世以降・中世・古代・古墳時代
後期・縄文時代・旧石器時代
4. 調査概要

今回は、3ヶ所の調査を行っています。
用田辻に近い調査区では14～16世紀の中世遺構が多数検出されました。

主な遺構は、地下式坑（ちかしきこう）・土坑・区画溝と掘建柱建物址の柱穴と思われるピット350基以上が検出されています。

遺物は、かわらけ・常滑大甕（とこなめおおがめ）などの破片、鉄鏃、古銭などが出土しています。

また、旧石器時代の調査では、ローム層中の黒色帯（BB2層）から石器製作址が検出されており、今回の調査でも検出が期待されています。





X II 地区(東)中世遺構全景



ピット遺物出土状況(14世紀のかわらけ)